

教 育

1	概 況	403
2	青 少 年 育 成	404
3	学 校 教 育	407
4	図 書 館	421
5	熊 本 博 物 館	425

1 概況

少子高齢化に加え、グローバル化や情報化の進展など社会は著しく変化しており、子どもたちを取り巻く環境も、いじめの社会問題化や不登校の増加、インターネットを通じたトラブルなど多くの課題を抱えている。

これからの予測困難な時代の中で、子どもたちの健やかな成長は私たち大人に課せられた重要な使命である。社会の著しい変化に柔軟に対応できる必要な知識・技能の習得はもとより、思考力、判断力、表現力を伸ばすなど、主体的に社会の課題を解決する力を含め、自分の人生を描き、どう切り拓いていくかという、生き抜く力の育成が一層重要となる。

こうした背景を踏まえ、令和元年度（2019年度）には、熊本市総合計画の中間見直しを行った。中間見直し後の熊本市総合計画基本計画においても、3つのまちづくりの重点的取組のうち、「安心して暮らせるまちづくり」に具体的な取組を掲げて施策の展開を図っている。

教育委員会では、平成28年（2016年）3月に、本市の教育、文化及びスポーツの振興に関する総合的な目標や施策の基本となる指針として策定された「熊本市教育大綱」をもって熊本市教育振興基本計画に代えることとした。

令和2年（2020年）7月には、「熊本市教育大綱」の第1期4年間の計画期間満了に伴い、第2期となる「熊本市教育大綱」が策定された。策定にあたっては、本市市政運営の基本方針である「第7次総合計画」の中間見直しや国の第3次教育振興基本計画、新学習指導要領の内容等を踏まえ、施策を取りまとめ、熊本市教育振興基本計画についても新たに策定を行った。

【参考】

（1）熊本市教育振興基本計画（熊本市教育大綱）（令和2～5年度）

基本理念

豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む

（2）取組の方向

- 1 主体的に考え行動する力を育む教育の推進
- 2 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進
- 3 最適な教育環境の整備
- 4 学校教育と福祉の連携の推進
- 5 多彩な学習機会の提供と創造
- 6 豊かな市民生活を楽しむための文化の振興
- 7 生涯を通して健康に過ごすためのスポーツの振興

（3）重点的取組

- 1 いのちを大切にする心の教育の充実と、いじめや不登校への細やかな対応
- 2 確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進
- 3 教員が子どもと向き合うための体制の整備
- 4 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

2 青少年育成（青少年教育課）

心豊かなたくましい青少年を育むため、社会参加活動への支援や青少年育成環境の整備を進める。特に児童育成クラブの充実など、放課後児童対策を強化するとともに、多様な青少年問題に対応するため、青少年センター活動の中で非行・被害防止活動や広報啓発活動を充実させる。

（１）青少年健全育成推進事業

「生きる力」を備えた青少年の健全な育成が図られるよう、地域における青少年の活動を支援するとともに支援体制を整える。

ア 熊本市青少年問題協議会

熊本市青少年問題協議会は、地方青少年問題協議会法に基づく本市の附属機関として設置。青少年問題全般に関する協議を行うとともに、関係行政機関相互の情報共有を行う。事務局は本市青少年教育課に置く。

- 委員構成 市長・市議会議員・教育委員会委員・学識経験者・関係行政庁職員
- 任期 在職期間（ただし学識経験者は２年）
- 事業内容 協議会の開催

イ 熊本市青少年指導員協議会

熊本市青少年指導員協議会は、熊本市教育委員会から委嘱を受けた熊本市青少年指導員によって、自らの資質の向上と連携の強化を図るため、平成元年５月に自主的に結成された任意団体。

（２）児童育成クラブ

- 目的 放課後児童（保護者が労働等により昼間家庭にいない児童）とその保護者に対し、児童育成クラブを開設し、児童の健全育成及び仕事と子育ての両立を支援する。
- 開設日 ４月１日～翌年３月３１日（日曜日・国民の祝日・年末年始を除く）
- 開設時間 平日：児童の下校時間～午後６時
土曜日及び長期休業期間：午前８時～午後６時
※令和３年１０月１日より午後７時まで開設延長
- 支援員 ５２５名（令３．５．１現在）
- 巡回指導員 １７名（令３．５．１現在）
- 開設状況 （公営）８０箇所６，２６５名 （民営）１５箇所６４８名（令３．５．１現在）
※開設時間、支援員、巡回指導員については、各民営クラブにより異なる。

（３）青少年センター活動

ア 業務内容

街頭指導、関係機関及び団体との連携、青少年非行・被害防止に関する啓発活動、青少年指導にかかる調査及び資料収集、青少年に有害な影響を与える環境の浄化、その他青少年非行・被害防止のための必要な事項。

イ 熊本市青少年指導員

（令３．５．１現在）

身 分	推薦について	人 員（人）
有償ボランティア	校区青少年健全育成協議会及び自治協議会等の推薦	243
計		243

ウ 指導状況

① 実施状況

年度	H28	H29	H30	R1	R2
街頭指導実施状況					
年間街頭指導実施回数（回）	831	902	934	861	656
従事した青少年指導委員延人員（人）	3,925	4,038	4,404	3,987	1,877
指導した青少年の総数（人）	1,898	1,772	2,774	3,054	1,849

② 学職別・行為別指導状況

(単位 人)

学職別	行為別 年度	喫煙	怠学	遊技施設内 声かけ指導	交通指導	帰宅指導	その他	計
小学生	H30	-	1	87	-	18	19	125
	R1	-	-	62	2	27	6	97
	R2	-	-	33	-	4	32	69
中学生	H30	2	-	367	1	52	15	437
	R1	-	1	414	-	66	40	521
	R2	-	-	185	3	3	21	212
高校生	H30	3	35	1,940	28	140	30	2,176
	R1	2	18	2,171	37	105	32	2,365
	R2	-	1	1,465	29	48	7	1,550
その他	H30	7	-	9	18	2	-	36
	R1	8	-	47	16	-	-	71
	R2	-	-	5	4	-	9	18
計	H30	12	36	2,403	47	212	64	2,774
	R1	10	19	2,694	55	198	78	3,054
	R2	-	1	1,688	36	55	69	1,849

エ 熊本市小学校生徒指導協議会・熊本市中学校生徒指導委員会・熊本市高等学校生活指導連盟との連携

熊本市小学校、中学校、高等学校における児童・生徒の指導を目的とした調査、研究、連絡調整等を行う教職員組織との相互連携による生徒指導活動を展開する。

オ 家庭環境づくりの啓発事業（健全育成懇談会～地域で育てる青少年～）

“非行防止は家庭から” “家庭づくりは親子の対話から”と言われるように、家庭のあり方が青少年に与える影響は大きなものがある。家庭における子どもの問題を中心に考えながら青少年の健全な育成と明るい家庭づくりについての話し合いの機会をもつために講師、助言者を派遣する。

(4) 家庭教育の推進

家庭の教育力向上のため、保護者等を対象にした家庭教育の大切さについて啓発するための学習機会や、情報を提供している。

ア 家庭教育セミナー

家庭教育力の向上のため、主に小・中学生の子どもを持つ保護者を対象に、子どもたちの持つ悩みや子どもとの接し方、また社会的ルールやしつけ等を学ぶ講座を実施している。小中学校やPTAとの連携により、保護者の多く集まる機会等を捉えた開催に努めている。

イ 家庭教育地域リーダーフォローアップ研修

地域の核となって家庭教育を推進する家庭教育地域リーダーのフォローアップ研修を実施している。令和2年度（2020年度）は、熊本市教育センターのYouTubeチャンネルを通じ、研修内容を動画で配信。

（5）青少年教育

子どもたちが様々な野外体験活動等を通して、「生きる力」を育むことができるよう青少年活動（野外活動等）の安全で教育的効果の高い青少年活動を推進する。

ア 青少年教育施設

恵まれた自然環境の中で、集団生活を通じて青少年の健全な育成を図るために、小中学校の集団宿泊や青少年団体等を受け入れるとともに主催事業を行う。なお、全棟（体育室を除く）にわたる屋根の不具合に伴い、平成31年（2019年）4月15日から受け入れを中止している。

① 金峰山少年自然の家

所在地 西区池上町3071-5
開設年月日 昭和50年（1975年）10月1日
定員 200人
施設内容 宿泊棟（児童用23室・引率者用2室・バリアフリー1室・バリアフリー浴室）
研修室・体育室・食堂・浴室・保健室・事務室・つどいの広場・野外炊飯場
屋外多目的ハウス

利用状況

（平31.4.1現在）

年度 団体名	H26		H27		H28		H29		H30	
	団体数	延人員 （人）	団体数	延人員 （人）	団体数	延人員 （人）	団体数	延人員 （人）	団体数	延人員 （人）
小 学 校	96	23,322	87	22,156	87	13,667	70	16,736	78	20,891
中 学 校	3	262	10	1,670	3	340	2	240	3	308
少 年 団 体	32	2,769	20	1,397	7	719	17	1,148	20	1,221
その他の団体	7	2,146	18	4,200	5	2,506	13	4,015	9	2,818
主 催 事 業	15	1,684	12	1,048	6	338	9	760	11	1,012
合 計	153	30,183	147	30,471	108	17,570	111	22,899	121	26,250
稼働率（％）	78.8		77.3		66.5		60.7		67.1	

（注）稼働率（％）＝（利用日数／開所日数）×100

（6）青少年の交流

国内外の友好姉妹都市との間で、青少年の交流活動を通して、両市の友好と親善を深める。

ア 国際交流（令和2年度（2020年度））

① 熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業（オンライン交流）

実施日 令和2年（2020年）11月14日（土）
参加者 14人（学生：熊本市4人、ハイデルベルク4人、関係者6人）

イ 国内交流（令和2年度（2020年度））

① 熊本市・福井市小学生交流事業（オンライン交流）

実施日 令和2年（2020年）11月8日（日）
参加者 23人（小学生：熊本市12人、福井市11人）

3 学校教育

現在、Society5.0時代の到来といった急激な社会的変化が進む中、子どもたちが予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成することが求められており、それに対応し、学校教育も変化していかなければならない。

このような中で、今求められているのは、熊本市教育振興基本計画の基本理念「豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む」ことである。

そこで、以上のような視点を踏まえ、子ども一人一人の個性を生かしながら、豊かな人間性や創造性を育むきめ細かな教育を推進するため、令和2年（2020年）7月に策定した「熊本市教育振興基本計画（令和2～5年度）」に基づき、具体的な施策の展開を図っていく。

また、平成30年（2018年）3月に「学校改革！教員の時間創造プログラム」を、令和3年（2021年）3月には「第2期学校改革！教職員の時間創造プログラム」を策定し、教職員が心身ともに健康で、ゆとりを持って子どもたちと向き合える環境をつくっていくために、教職員の長時間勤務の実態改善に向けた取組を総合的かつ計画的に推進している。

令和3年度（2021年度）の主な事業は次のとおりである。

- ・自ら学びに向かう力を育む教育の推進（教育の情報化推進経費、市立幼稚園における特別支援教育等に関する検討経費 他）（教育センター、学校改革推進課）
- ・豊かな心と健やかな体を育む教育の推進（道徳教育総合支援事業、いのちを守る教育推進経費他）（教育センター、健康教育課）
- ・持続可能な社会の実現に貢献する力を育む教育の推進（水俣に学ぶ肥後っこ教室経費）（指導課）
- ・多様な教育的ニーズに対応した支援の拡充（いじめ・不登校対策経費、スクールソーシャルワーカー配置事業、スクールカウンセラー配置事業 他）（総合支援課）
- ・特別支援教育の推進（特別支援学級教室改修経費、スクールバス運行経費（あおば支援学校分） 他）（学校施設課、総合支援課）
- ・働き方改革の推進（次期ネットワーク整備関連経費（地域教育情報ネットワーク経費）、学校給食費等管理経費 他）（教育センター、健康教育課、教育政策課）
- ・安全安心な学校づくりの推進（学校トイレの洋式化（施設整備経費）、学校施設長寿命化関連経費、学校防犯カメラ設置経費 他）（学校施設課、健康教育課）
- ・生涯学習関連施設の機能充実（特別展等開催経費、子どもの読書環境整備事業 他）（博物館、図書館）
- ・青少年の健全育成（児童育成クラブ管理運営経費、児童育成クラブ施設整備経費）（青少年教育課）

（1）市内学校数（指導課）

（令3.5.1現在）

区分	校種別	大 学	短 大	高 校	特別支援 学 校	中 学	小 学	幼	合計
国		1			1	1	1	1	5
県		1		11	4				16
市				2	2	42 (1)	92	6	144 (1)
私		6	1	14		8		20	49
合計		8	1	27	7	51 (1)	93	27	214 (1)

（注）（ ）は分校の数を別掲 区分中の「国」は独立行政法人（旧国立熊本大学）

教育

(2) 市立学校児童生徒数 (教職員課)

校種別 \ 区 分	学校数	学級数	児童生徒	教員数
幼稚園	6	20	279	43
小学校	92	1,647	40,754	2,493
中学校	42 (1)	704	19,358	1,360
高等学校	2	42	1,614	114
特別支援学校	2	16	118	57
専修学校	1	7	124	11
合計	145 (1)	2,436	62,247	4,078

(注) () は分校の数

(令3.5.1現在)

(3) 児童生徒数の変遷 (教職員課)

区 分 \ 年度		H29	H30	R1	R2	R3
児童生徒数	小学校	40,747	41,045	40,922	40,704	40,754
	中学校	19,574	19,077	18,932	19,044	19,358

(各年度 5.1現在)

(4) 学校施設の現況 (学校施設課・教職員課)

ア 小学校施設の現況

(令3.5.1現在)

番号	学 校 名	児 童 数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)	校庭夜間 照明施設 開設年月
					校 舎	屋内運動場		
1	壺 川	420	25	17	4,341	594	9,104	
2	碩 台	147	13	8	3,610	594	12,093	
3	白 川	448	25	17	4,288	919	12,908	
4	城 東	209	15	9	4,444	725	15,195	
5	慶 徳	135	22	12	4,268	919	6,563	
6	一 新	382	23	15	4,345	725	12,615	
7	五 福	253	22	12	3,158	804	6,682	昭52.10
8	向 山	481	26	18	4,123	725	16,652	
9	黒 髪	430	30	15	5,477	796	10,472	
10	大 江	697	37	27	4,544	725	11,724	
11	本 荘	59	12	6	4,083	894	11,533	
12	春 竹	515	35	20	5,444	1,049	15,465	
13	古 町	125	13	8	2,840	532	11,184	
14	春 日	287	20	14	4,349	725	14,224	昭49. 9
15	城 西	679	38	24	6,311	1,170	20,277	昭60. 9
16	花 園	402	22	14	4,893	945	17,199	昭57.10
17	池 田	431	24	17	4,962	594	12,569	
18	出 水	434	23	16	4,657	826	11,682	
19	白 坪	443	31	17	5,658	945	16,004	
20	画 図	1,013	51	37	6,775	919	17,278	昭54.10
21	砂 取	451	25	17	4,686	1,119	18,074	
22	健 軍	609	46	25	6,930	945	25,678	
23	清 水	520	35	23	5,741	1,036	16,849	昭49. 9
24	日 吉	350	24	15	5,453	976	15,199	昭55. 4
25	川 尻	490	27	20	5,184	1,049	22,553	昭60. 9
26	力 合	525	32	22	5,001	594	16,836	昭60. 4
27	御 幸	630	31	23	4,939	1,039	18,787	昭52.10
28	田 迎	431	21	16	4,619	1,203	13,513	昭62. 3
29	高 橋	99	11	7	1,912	666	7,271	
30	池 上	243	18	11	3,705	919	16,088	平元. 5
31	城 山	690	38	26	5,347	924	24,427	昭57. 4
32	託 麻 原	634	35	24	6,555	1,049	21,748	
33	秋 津	587	31	21	4,933	923	16,104	
37	泉 ケ 丘	396	23	15	4,844	919	18,362	
38	小 島	267	24	15	2,856	1,093	12,462	
39	龍 田	606	35	25	5,633	850	14,556	昭62. 8
40	帯 山	809	48	30	6,156	1,069	20,252	
41	中 島	243	16	12	3,060	532	13,529	
42	白 山	549	30	20	5,038	1,049	20,199	
43	若 葉	397	23	17	4,619	1,049	18,784	
44	城 北	440	26	19	5,422	1,017	18,958	昭60. 9
45	尾 ノ 上	708	42	26	5,923	792	21,434	昭55.11
46	西 原	673	42	26	5,215	792	19,084	昭49. 9
47	高 平 台	637	30	23	5,370	945	26,678	昭49. 9
48	楠	243	19	11	6,325	802	18,318	
49	託 麻 東	1,161	63	43	6,628	725	24,305	
50	託 麻 西	851	48	32	6,589	945	18,873	昭52.10

(令3. 5. 1現在)

番号	学 校 名	児 童 数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)	校庭夜間 照明施設 開設年月
					校 舎	屋内運動場		
51	託 麻 北	530	28	20	4,126	920	15,971	昭60. 4
52	桜 木	434	26	19	6,361	725	20,806	昭49. 9
53	東 町	542	38	22	5,945	1,436	20,272	昭54. 10
54	麻 生 田	415	27	17	5,221	945	20,193	
55	武 蔵	385	22	15	4,971	945	18,102	
56	帯 山 西	573	32	22	4,319	725	17,965	
57	月 出	457	29	19	5,916	945	24,258	昭55. 11
58	出 水 南	798	41	28	6,005	945	16,287	
59	健 軍 東	275	20	13	5,960	725	21,385	昭58. 3
60	城 南	245	19	11	3,978	725	22,633	昭57. 12
61	田 迎 南	814	39	28	5,960	725	25,702	昭58. 3
62	弓 削	268	19	13	3,012	695	18,594	昭58. 3
63	託 麻 南	963	51	35	7,073	725	21,601	昭60. 4
64	山 ノ 内	588	33	22	5,535	724	28,949	昭61. 10
65	榆 木	515	34	21	3,824	918	18,859	
66	川 上	549	34	24	4,667	745	24,479	
67	西 里	313	23	16	4,375	1,161	35,546	平22撤去
68	北 部 東	744	37	27	4,976	1,337	19,179	
69	芳 野	82	12	8	1,993	797	13,124	
70	河 内	164	13	8	2,890	862	12,417	昭49. 3
71	飽 田 東	540	28	21	3,196	680	12,155	
72	飽 田 南	218	15	10	1,420	680	11,835	
73	飽 田 西	139	12	8	1,542	680	12,072	
74	中 緑	48	8	5	1,560	401	9,738	
75	銭 塘	110	12	7	2,179	378	12,246	
76	奥 古 閑	130	12	7	3,167	680	13,329	
77	川 口	64	10	6	2,273	420	12,066	
78	長 嶺	1,002	50	35	6,326	1,049	24,672	平17. 4
79	日 吉 東	516	28	19	3,799	919	26,118	
80	桜 木 東	549	32	21	3,456	919	26,103	
81	富 合	811	41	29	3,924	919	22,239	
82	杉 上	366	22	15	3,616	802	25,000	
83	隈 庄	801	46	29	5,569	800	15,151	
84	豊 田	215	18	10	3,469	800	23,084	
85	植 木	388	24	14	3,611	919	20,728	
86	山 本	81	10	6	2,582	797	14,595	
87	田 原	91	15	8	2,607	797	23,182	
88	菱 形	249	19	12	3,970	920	22,793	
89	桜 井	319	22	15	4,090	920	24,413	
90	山 東	158	13	8	3,320	922	22,154	
91	吉 松	157	14	8	3,463	919	16,267	
92	田 底	102	12	7	2,723	541	14,577	昭52. 6
93	田 迎 西	591	36	22	6,057	1,226	22,285	
94	力 合 西	701	39	28	4,711	1,199	33,342	
95	龍 田 西	525	32	22	6,333	1,201	23,029	
合 計		40,754	2,497	1,647	417,323	79,359	1,659,839	

イ 中学校施設の現況

(令3.5.1現在)

番号	学 校 名	生 徒 数	教員数	学級数	建物保有面積 (㎡)		校地面積 (㎡)	校庭夜間 照明施設 開設年月
					校 舎	屋内運動場		
1	出 水	921	52	29	7,386	1,322	25,654	昭48.10
2	白 川	565	32	19	6,140	1,222	28,765	昭48.10
3	藤 園	290	31	16	5,627	1,138	22,788	昭48. 4
4	花 陵	417	29	15	5,957	994	20,331	昭48.10
5	城 南	388	30	16	6,038	1,138	24,459	昭47.10
6	京 陵	674	42	23	7,673	1,222	29,457	昭48. 4
	清水が丘分校	9	10	2	0	0	26,094	
7	西 山	499	33	19	6,225	1,463	29,968	昭49.10
8	江 南	187	18	9	3,519	1,138	23,240	昭48. 4
9	江 原	232	22	10	4,433	981	25,360	昭49.10
10	竜 南	325	23	12	4,870	981	18,629	昭48.10
11	桜 山	188	18	8	4,394	981	19,596	昭48. 4
12	湖 東	425	34	17	5,759	1,138	28,502	昭47.10
13	託 麻	1,076	64	34	7,504	1,222	24,430	昭48.10
14	三 和	541	35	18	4,715	981	21,813	昭48. 4
15	城 西	210	21	10	4,180	1,171	13,784	昭48.10
16	帯 山	917	56	28	7,904	1,277	25,675	昭48. 4
17	東 野	462	32	16	5,829	1,222	19,304	昭48.10
18	錦ヶ丘	793	52	27	6,934	1,571	20,062	昭48.10
19	二 岡	464	33	17	4,351	1,558	24,500	昭48. 4
20	東 部	417	28	15	4,704	734	21,422	
21	楠	402	27	15	6,939	724	24,570	平20. 3
22	西 原	636	43	22	6,943	1,124	29,588	
23	武 蔵	360	27	14	4,864	780	22,407	昭56. 6
24	東 町	422	28	15	7,622	1,020	21,500	昭58. 3
25	出 水 南	656	41	23	4,794	780	27,592	昭58. 3
26	清 水	480	33	18	6,294	1,222	22,702	
27	井 芹	281	23	11	5,313	981	29,318	
28	北 部	699	46	24	5,815	1,261	25,944	平19.10
29	芳 野	25	11	3	2,458	910	31,550	昭55. 5
30	河 内	64	13	3	2,993	2,007	15,238	昭49. 3
31	飽 田	401	26	15	3,730	1,280	15,260	
32	天 明	166	14	7	3,918	1,133	22,867	
33	長 嶺	1,007	61	34	7,165	1,221	41,148	
34	力 合	516	34	17	4,449	981	30,006	
35	龍 田	624	45	24	5,056	981	27,384	平18. 4
36	日 吉	444	31	18	5,035	981	30,581	平17. 4
37	桜 木	519	31	17	5,752	981	26,307	
38	富 合	309	24	12	3,995	1,368	31,915	昭58. 8
39	下益城城南	585	40	22	6,894	1,772	28,777	
40	鹿 南	294	25	11	5,178	981	28,885	
41	五 霊	341	26	13	4,193	1,032	25,798	
42	植 木 北	12	16	6	3,293	984	26,209	
合 計		19,243	1,360	704	226,835	47,958	1,079,379	

※清水が丘分校の保有面積については、借用地のみ記載。

教育

ウ 幼稚園施設の現況

(令3.5.1現在)

番号	園 名	園児数	教員数	学級数		園舎保有面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
				通常	通級		
1	碩 台	29	8	3	3	817	1,272
2	一 新	48	5	3		914	3,143
3	向 山	40	11	3	7	893	2,943
4	川 尻	36	7	3	3	788	2,380
5	楠	33	5	3		606	2,197
6	隈 庄	93	7	5		875	3,341
合 計		279	43	20	13	4,893	15,276

※ 碩台幼稚園 教員数には、ことばの教室の3人が含まれる。
 ※ 向山幼稚園 教員数には、ことばの教室の7人が含まれる。
 ※ 川尻幼稚園 教員数には、あゆみの教室の3人が含まれる。

エ 高等学校

市立必由館高等学校概要

明治44年(1911年)に創立し、創立110年という長い歴史と伝統を持つ高等学校であり、平成13年(2001年)には学科改編と校名変更を行い、1学年普通科9クラス(普通科6、国際コース1、芸術コース1、服飾デザインコース1)編制となった。

多様化する生徒の進路希望に対応して、選択授業や少人数学習などを取り入れ、大学進学を目指した教育課程を編成するとともに、多彩な芸術・文化活動、体育活動にも力をいれており、輝かしい成果を残している。正しい判断力と真摯な実践力を身に付けるとともに、国際社会や地域社会に貢献できる人間性豊かな人材の育成に取り組んでいる。

市立千原台高等学校概要

昭和32年(1957年)に商業高校としてスタート以来64年目を迎えた高等学校であり、平成12年(2000年)には学科改編と校名変更を行い、1学年普通科2クラス(国際経済コース1、健康スポーツコース1)、情報科3クラス(OA会計コース2、経営情報コース1)の二つの学科を持つ高校となった。

普通科においては、大学や専門学校など、コースの特性を生かして上級学校への進路希望の実現を図るとともに、情報科においても生徒のニーズに応じて、進学、就職に対応できるよう、専門教育を中心にした学習内容の充実に取り組んでいる。また、ハンドボールや陸上競技、自転車競技などスポーツの伝統校でもある。

施設の概要

(令3.5.1現在)

番号	学 校 名	生徒数	教員数	学級数	建 物 保 有 面 積 (㎡)		校地面積 (㎡)
					校 舎	屋内運動場	
1	必 由 館	1,049	68	27	14,520	2,546	70,085
2	千 原 台	565	46	15	7,071	3,774	55,434
合 計		1,614	114	42	21,591	6,320	125,519

オ 特別支援学校

平成さくら支援学校概要

平成29年（2017年）4月に開校した知的障がいのある生徒を対象とする特別支援学校高等部である。普通科・一般学級を設置しており、1学年3学級編制である。

「自立・夢・挑戦」を校訓とし、夢を育み、何事にも挑戦していく生徒の育成をめざし、卒業後の自立と社会参加に向けて、家庭や地域と連携して、一人ひとりの教育的ニーズに対応した教育を進めている。

施設の概要

（令3.5.1現在）

学 校 名	生徒数	教員数	建 物 保 有 面 積（㎡）		校地面積（㎡）
			校 舎	室内運動場	
平成さくら支援学校	73	29	4,750	971	21,602

あおば支援学校概要

令和2年（2020年）4月に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とする特別支援学校小中学部である。普通科・一般学級を設置しており、小学部は1学年1学級、中学部は1学年2学級編制である。

「明るく なかよく おおらかに」を校訓とし、児童生徒の教育的ニーズに応じた教育を行うことにより、将来の自立と社会参加のための基盤となる「生きる力」を育成する教育を進めている。

施設の概要

（令3.5.1現在）

学 校 名	児童生徒数		教員数	建 物 保 有 面 積（㎡）		校地面積（㎡）
	小学部	中学部		校 舎	室内運動場	
あおば支援学校	24	21	28	3,401		4,507

2校は、本市における特別支援教育の充実に向け、学校を含む関係機関や保護者に対して、研修及び教育相談等の拠点機能を担っている。

カ 専修学校

総合ビジネス専門学校概要

昭和24年（1949年）に創立して73年目を迎える。建学の精神は「無名にして有力 役に立つ人間」。卒業生は8,300名を超え熊本市を中心に地域の企業等で活躍している。全国に2校しかない「商業系公立専門学校」であり、手厚い就職支援により就職率は高い。

総合ビジネス科（専門課程2年）は、情報ビジネス、経理ビジネス、観光サービスの3コースがあり、「ビジネスに関する実践的で専門的な知識や技能を活用して、地域に根差し地域で活躍する人物を育成する」ことを教育目標とする。卒業時に「専門士」の称号を得て、短大卒と同等の待遇を受ける。

OA経理科（一般課程1年）は、主として社会人を対象に夜間に開講しており、ビジネスに必要な情報処理と簿記に関する基礎的な知識・技能を修得する。

施設の概要

（令3.5.1現在）

学 校 名	生徒数	教員数	建 物 保 有 面 積（㎡）		校地面積（㎡）
			校 舎	屋内運動場	
総合ビジネス専門学校	121	11	3,727		4,399

教育

キ 校舎の整備状況

(令3.5.1現在)

区 分		校 舎 面 積 (㎡)				普 通 教 室 数				特 別 教 室 数			
		学校数	基準面積	保有面積	過不足面積	学校数	基準数	保有数	過不足数	学校数	基準数	保有数	過不足数
小学校	基準未満	52	276,362	226,278	△50,084	47	1,039	919	△120	34	362	248	△114
	基準以上	40	166,487	191,045	24,558	45	644	654	10	58	535	746	211
	合計	92	442,849	417,323	△25,526	92	1,683	1,573	△110	92	897	994	97
中学校	基準未満	21	134,085	112,154	△21,931	20	413	362	△51	10	138	109	△29
	基準以上	22	102,860	114,681	11,821	23	294	308	14	33	451	595	144
	合計	※43	236,945	226,835	△10,110	43	707	670	△37	43	589	704	115

※学校数は分校を含む

ク 屋内運動場の整備状況

(令3.5.1現在)

区 分		学 校 数	基 準 面 積 (㎡)	保 有 面 積 (㎡)	過不足面積 (㎡)
小学校	基 準 未 満	75	83,004	61,947	△21,057
	基 準 以 上	17	16,411	17,412	1,001
	合 計	92	99,415	79,359	△20,056
中学校	基 準 未 満	30	37,858	30,235	△7,623
	基 準 以 上	13	15,470	17,723	2,253
	合 計	※43	53,328	47,958	△5,370

※学校数は分校を含む

(5) 特別支援学級設置状況 (総合支援課・教職員課)

(令3.5.1現在)

区 分	小 学 校			中 学 校			合 計		
	学級数	児童数	教員数	学級数	生徒数	教員数	学級数	児童生徒数	教員数
知的障害学級	130	718	182	49	254	60	179	972	242
自閉症・情緒障害学級	132	728	196	68	407	84	200	1,135	280
肢体不自由学級	18	27	23	13	15	13	31	42	36
院 内 学 級	4	8	6	4	6	5	8	14	11
病 弱 学 級	14	19	17	7	9	7	21	28	24
弱 視 学 級	1	1	1	2	2	2	3	3	3
難 聴 学 級	8	19	10	5	8	5	13	27	15
合 計	307	1,520	435	148	701	176	455	2,221	611

(6) 中学校卒業者の進路状況 (指導課)

(令3.5.1現在)

区分 進路別			男	女	合計	比率（％）
卒 業 生 総 数			3,128	3,029	6,157	100
進 学 者	高等学校 の本科	全日制	2,914	2,862	5,776	93.81
		定時制	24	10	34	0.55
		通信制	101	120	221	3.59
	高等専門学校		71	19	90	1.46
	合計		3,110	3,011	6,121	99.42
専修学校・各種学校 公共職業訓練施設等			10	6	16	0.26
就職者（含自家営業）			1	0	1	0.02
無 業 者			2	1	3	0.05
未 定			5	11	16	0.26

(7) 熊本市奨学金制度 (指導課)

ア 目的 経済的理由により修学が困難な学生・生徒に対して、奨学金を貸し付け、社会に貢献し得る人材を育成する。

イ 貸付要件 次の要件をすべて満たす者

- ・熊本市に居住する者の被扶養者であること。
- ・学校教育法に規定する学校等（高校、高専、大学、短大、専修学校の高等課程及び専門課程）に在学していること。
- ・経済的理由により修学が困難であると認められること。
- ・国、他の地方公共団体若しくはその他の団体からの奨学金（貸付けによるものに限る。）又はこれと同種の貸付けを受けていないこと。

ウ 貸付金額及び定数

区 分	定数 (人)	種別	貸付月額	自宅外通学生 加算額 (月額)	第1学年加算額 (初回のみ)
高等学校	380	国・公立	18,000円	—	50,000円
高等専門学校		私立	30,000円		100,000円
専修学校 (高等課程)					
大学		国・公立	42,000円	6,000円	150,000円
短期大学 専修学校 (専門課程)		私立	51,000円	10,000円	200,000円

注1 加算は、申請に基づき付加する。

注2 申請により、貸付月額を2分の1に相当する額に減額することができる。

エ 貸付期間 在学する学校等の正規の修学年限

オ 返 還 奨学金の貸付終了後、決められた期間内で、貸し付けを受けた総額を年賦・半年賦・月賦のいずれかの方法で返還する。(無利子)

(8) 就学援助費（指導課）

経済的理由によって就学困難と認められる児童及び生徒について、就学に必要な費用を援助することにより、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。

認定率・援助総額の推移

年度		H28		H29		H30		R1		R2	
区分											
児童生徒数 (人)	小学校	40,236	60,090	40,747	60,321	41,045	60,122	40,922	59,854	40,704	59,748
	中学校	19,854		19,574		19,077		18,932		19,044	
認定者数 (人)	小学校	6,093	9,532	6,005	9,326	5,785	8,981	5,655	8,838	5,669	8,898
	中学校	3,439		3,321		3,196		3,183		3,229	
認定率 (%)	小学校	15.1	15.9	14.7	15.5	14.1	14.9	13.8	14.8	13.9	14.8
	中学校	17.3		17.0		16.8		16.8		17.0	
援助総額 (千円)	小学校	417,805	796,248	428,111	807,297	423,597	798,354	401,710	763,174	409,937	767,181
	中学校	378,443		379,186		374,757		361,464		357,244	

令和2年度（2020年度）支給実績

(単位 円)

	小学校		援助総額	中学校		援助総額
	1 年			1 年		
学用品費等	2～6年	13,230	82,720,366	25,040		83,568,956
	5・6年	15,500		27,310		
補助教材費	4 年	4,000	11,972,140			
		4,300				
新入学児童生徒学用品費	3年度入学前支給 51,060		38,090,760	3年度入学前支給 60,000		63,840,000
修学旅行費	実 費		17,207,045	実 費		39,269,029
通学費	実 費		37,900	実 費		13,540
医療費	実 費		4,312,543	実 費		1,611,206
学校給食費	実 費		219,154,033	実 費		145,459,267
令和2年5月学校休校時 給食費相当分	実 費		31,484,913	実 費		22,278,185
校外活動費	実 費		4,958,226	実 費		1,203,924
合 計			409,937,926			357,244,107

(9) 私学助成（指導課）

(単位 千円)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
区分					
高等学校 中学校	29,999	29,999	29,999	29,999	28,836

(10) 国際交流の推進

アメリカ合衆国サンアントニオ市（姉妹都市）との交換留学制度（青少年教育課）

ア 熊本市からの派遣（令和2年度（2020年度））

派遣人員	在 籍 校	派 遣 先
高校生 0名	熊本市立必由館高等学校 熊本市立千原台高等学校	セントアンソニーカトリック高校 インカーネーションワード高校

イ サンアントニオ市からの受入（令和2年度（2020年度））

受入人員	在 籍 校	受 入 先
高校生 0名	セントアンソニーカトリック高校 インカーネーションワード高校	熊本市立必由館高等学校 熊本市立千原台高等学校

※令和2年度（2020年度）については、新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣・受入ともに中止

(1 1) 学校給食（健康教育課）

ア 実施状況

(令3.5.1現在)

区 分	種 類	実施校数	児童生徒数	給 食 費	給食関係職員	
					栄養教諭等	給食技師等
小学校	完全給食	92校	40,786人	1食単価243円	47人	88人
中学校	完全給食	42校	19,345人	1食単価295円	19人	10人

イ 学校給食共同調理場

(令3.5.1現在)

施設名（開設年月）	所 在 地	対象校
東共同調理場（昭48.4）	東区東町3丁目3番2号	東野中、錦ヶ丘中、東町中、桜木中
西原共同調理場（昭53.4）	東区保田窪4丁目9番1号	西原中、帯山中
城西共同調理場（昭53.4）	西区小島8丁目17番1号	城西中、三和中、鮑田中、県立かがやきの森支援学校
京陵共同調理場（昭54.4）	中央区京町本丁1番14号	京陵中、竜南中、白川中、藤園中
日吉共同調理場（昭54.9）	南区日吉1丁目4番50号	花陵中、江南中、江原中、力合中、平成さくら支援学校
武蔵共同調理場（昭56.4）	北区武蔵ヶ丘4丁目19番1号	武蔵中、清水中
出水南共同調理場（昭58.4）	中央区出水7丁目86番1号	出水南中、出水中、湖東中、託麻中
井芹共同調理場（平2.6）	西区上熊本3丁目28番25号	井芹中、西山中、北部中
長嶺共同調理場（平5.4）	東区長嶺南7丁目21番40号	長嶺中、二岡中、東部中
龍田共同調理場（平6.4）	北区龍田7丁目9番16号	龍田中、楠中、桜山中
城南共同調理場（平8.4）	南区八幡8丁目1番1号	城南中、日吉中、富合中
富合共同調理場（平11.3）	南区富合町清藤472番地	富合小、鮑田東小
植木共同調理場（平19.3）	北区植木町広住342番地1	鹿南中、五霊中、植木北中、植木小、菱形小、桜井小

(1 2) 熊本市学校給食会（健康教育課）

名 称	公益財団法人 熊本市学校給食会
事務所の所在地	中央区新町2丁目4番27号 熊本市健康センター新町分室2階
設 立 年 月 日	平成8年（1996年）4月2日
目 的	学校給食法に基づき学校給食の普及・充実と食育推進に寄与するため、学校給食用の物資の適正・円滑な供給に努め、もって児童生徒の心身の健全な発達に資する。
事 業	学校給食用物資の適正円滑な供給及び食育推進 ・ 物資購入委員会、青果物査定会、食肉査定会の開催 ・ 市産品導入の推進 ・ 特別栽培（減農薬）農産物等の導入推進 ・ 学校給食交流会の支援 ・ 学校給食用物資の生産地視察 学校給食の普及・奨励（改善・充実） ・ 登録業者工場視察及び学校給食用物資納入懇談会の開催 ・ 納入業者対象の食品安全衛生研修会の開催 学校給食の実施に必要な調査研究 ・ 学校給食用物資の定期検査及び放射能検査 その他目的を達成するために必要な事業
基 本 財 産	100,000千円

教育

(13) 熊本市教育センター

ア 施設・設備の概要

所 在 地	中央区千葉城町2番35号
施 設 内 容	5階 機械室 4階 大研修室 3階 第1研修室 第2研修室 第3スタジオ 第4スタジオ 2階 小研修室 中研修室 図書・資料室 職員室（研修研究班・授業づくり支援班） 1階 第1スタジオ 第2スタジオ ICT支援室 所長室 事務室（教育情報班・管理班） 地階 機械室

イ 研究に関する事業

学校教育、社会教育に係る教育機関と協力し教育上必要とする調査研究等を行い、成果の普及に努める。

調査研究

① 研究員活動

本市の教育施策にもとづき、教科領域等の授業改善、今日的課題解決及び学校事務運営に関する研究に取り組み、成果を積極的に現場に提供することで熊本市教育の充実と振興に役立てる。

- ・ 令和2年度（2020年度）委嘱研究員 10部会31人（委嘱期間 令2.4～令4.8 ※1年延期）
- ・ 令和3年度（2021年度）委嘱研究員 15部会50人（委嘱期間 令3.4～令5.3）
- ・ 検証授業の実施
- ・ 派遣研修の実施

② 研究論文・教育実践募集

教職員の研究論文・教育実践を公募することにより、今日的教育課題の先進的研究や日々の教育実践の工夫・改善を促し、教職員の資質向上及び本市教育の充実・発展を図る。また、研究や実践の成果を広め、活用することにより、本市の発展に寄与する。

- ・ 募集期間 令和4年（2022年）1月4日～1月7日（予定）
- ・ 各部門ごとに表彰を行う。

情報提供

① 資料の管理

熊本市教育センターに保管している書籍、教科書、研究紀要、指導案等の教育資料を管理し、学校現場等に貸し出すことで、学校教育及び社会教育の充実に資する。

- ・ 指導案、研究紀要の収集、保管、提供（データベース化）
- ・ 教育に関する書籍や教育資料の収集・整理及び閲覧・貸出

② 教材・機器の管理・貸出

授業における補助教材・資料の作成、学校行事等で使用する資料の作成や、授業及び学校行事等で使用する教育機器の貸出・管理、学校等における教育活動の支援を行う。

- ・ 拡大印刷による教材作成
- ・ プロジェクター、スクリーン等の貸出

教科書センターに関する事業

教科書センターは、教職員に対しては、教科書の調査研究の支援、学習指導のための資料提供、教科内容の常時研究に資するため、小学校及び中学校、高等学校用の教科書を備え、利用に供することを目的とする。また、市民に対しては、教科書や教科に対しての理解を深めることを目的とする。

- ・ 熊本県主催教科書展示会 令和3年（2021年）6月18日～7月1日

各教育研究所との連携

熊本県立教育センター、熊本県教育研究所連絡協議会、九州地区教育研究所連盟、指定都市教育研究所連盟、全国教育研究所連盟との連携を深め、研究成果を共有する。

ウ 研修に関する事業

研修を通して教職員のマネジメント力・実践的指導力・教師としての基盤の向上を目指すとともに、学校教育と家庭教育、社会教育の連携を図る。

ＯＪＴ推進（現場で実際の業務を通じて学ぶ）研修

- ・ 研究員活動
- ・ 派遣（パッケージ）研修
- ・ 教育情報の配信・提供
- ・ 授業力向上支援員派遣研修

ＳＤ（自己啓発）活性化支援研修

- ・ カウンセリング研修（1講座）
- ・ 教育の情報化研修（19講座）
- ・ 特別支援教育研修（4講座）
- ・ Talk Room（4月から随時開催）
- ・ 教師塾「きらり」（ベーシック研修、アドバンス研修）

ＯＦＦ－ＪＴ（学校外）研修

- ・ 経年者研修
 - 初任者研修（8～12講座） 初任校2年目研修（5講座）
 - 初任校3年目研修（5講座） 中堅教諭等資質向上研修（10講座）
 - 教職員1年目研修（6～7講座）
 - 15年経験者研修（4講座）
 - 新規臨任研修（4講座） 2年目臨任研修（3講座） 3年目臨任研修（2講座）
 - 「初めての学級担任」 臨任研修（1講座、インターネット配信）
 - 臨任研専門研修（養護助教諭2講座・学校栄養職員（臨時）1講座・幼稚園講師~~1~~2講座）
- ・ Kumamoto Education Week 2021-22
- ・ 職能研修（14講座）
 - 教育の情報化研修（2講座）
 - 幼児教育研修（1講座） 新任管理職研修【校長・園長、教頭】（各6講座）

エ 教育委員会の情報施策の推進に関する事業

教育委員会におけるＩＣＴ活用及び情報機器の整備を通して、教育の情報化推進に取り組む。

教育の情報化に関すること

- ・ 教育の情報化推進に向けての企画調整
- ・ 学校におけるＩＣＴ環境整備

教育

- ・ I C T活用研究モデル校（9校）による研究
- ・ 校務の情報化推進のための調査研究
- ・ オンライン授業の実施手順、環境の整備
- ・ 教育の情報化に関するホームページ、YouTubeチャンネル、Facebook等による情報発信

研修プログラムの開発

- ・ タブレット端末、電子黒板、プログラミング教材等の I C Tのよさを生かした授業づくり研修及び校内研修支援のためのパッケージ研修の開発
- ・ 情報活用能力育成のための研修の開発
- ・ 情報モラル教育の啓発と普及研修の開発
- ・ 情報モラル教育推進リーダー研修の開発

教育の情報化研修講座

- ・ 教育の情報化に関する研修講座の実施
パッケージ研修、オンライン研修による教科等指導における I C T活用、児童生徒の情報活用、情報モラル教育等の校内研修支援

教育情報ネットワークの企画管理運用

- ・ ネットワークの運用管理及び次期ネットワークの検討
- ・ 情報端末管理（教員用ノートパソコン・タブレット端末等）
- ・ 教育センターホームページ運営
- ・ I C T支援員による授業支援、校内研修等の支援、メンテナンス

情報セキュリティ

- ・ 情報セキュリティ対策実施手順の適切な運用実施
- ・ 学校等のセキュリティ研修

オ 授業づくり支援に関する事業

授業づくり支援訪問等を通して、教職員の授業力向上の支援を目指す。

授業づくり支援訪問・学校担当制

- ・ 計画訪問 2年ローテーションで全小中学校を訪問
- ・ 随時訪問 学校との情報交換のために、担当者が月1回程度訪問
- ・ 要請訪問 学校の要請に応じ、授業参観や校内研修等に参加し、学校と連携して諸課題に対応

各教科等研修の実施

- ・ 小中学校授業研究会 ・ 教育課程研究協議会（6月、2月）
- ・ 体育実技研修会 ・ 道徳教育推進研修会 ・ 理科実験事故防止研修

校内研修の支援・研究モデル校の実施・授業力向上支援員の派遣

心かがやけ月間（道徳）の実施

4 図書館

本市では、熊本市立図書館を中心とし、分館3館（植木図書館、城南図書館、とみあい図書館）、くまもと森都心プラザ図書館、15公民館図書室、男女共同参画センターはあもにい、議会図書室及び移動図書館による図書サービスネットワークを構築し、図書サービスの向上に努めてきた。

また、市全体での図書サービス業務の改善や取り組みの方向性を整理した「図書サービスのあり方について」を平成27年（2015年）3月に策定し、より市民に利用される図書館となるよう図書サービスの向上に取り組んでいる。加えて、令和元年（2019年）11月には電子図書館を開設し電子書籍の貸出サービスを開始した。

主な実施事業

資料の充実：熊本市立図書館、分館、くまもと森都心プラザ図書館、公民館図書室の選書購入を一元的に行い、各図書館の機能や公民館図書室の利用傾向等を考慮した資料を収集した。
契約時期を見直し、図書購入事務を迅速化することにより、早期の図書提供を実施した。

サービスの充実：熊本連携中枢都市圏ビジョンに基づく「図書館における圏域住民の相互利用」において連携する市町村との相互利用を実施した。
電子図書館にて電子書籍の閲覧サービスを提供した。

子どもの読書推進：子どもの発達段階に応じたおはなし会・紙芝居や読書への関心を高める多様な行事を開催した。
乳幼児期、小学校低学年・中学年・高学年及び中学生向けの良書を紹介した冊子等を作成・配布し、掲載図書の学校へのセット貸出等を実施した。

ア 施設

所在地	中央区大江6丁目1番74号
開館年月	昭和57年（1982年）11月
施設の概要	一般閲覧室、児童室、郷土・参考資料室、移動図書館車、ホール、集会室、ロビー、学習室

イ 蔵 書 数

【単位：冊】（令3.3.31現在）

	0：総記	1：哲学	2：歴史	3：社会	4：自然	5：技術	6：産業	7：芸術
市立図書館	18,965	19,837	51,762	71,250	37,760	32,353	16,896	42,997
市立BM	7	165	166	196	229	613	177	119
植木図書館	1,074	2,578	4,734	7,994	4,627	4,708	2,050	4,129
植木BM	16	44	79	50	78	177	53	44
城南図書館	1,466	4,291	6,230	10,532	9,335	8,549	3,154	7,265
城南BM	19	58	91	110	101	130	60	107
とみあい図書館	1,357	2,383	4,240	6,618	6,371	7,342	2,339	5,643
プラザ図書館	10,335	20,501	28,533	69,691	32,521	35,367	18,593	32,169
東部	391	839	1,965	1,993	2,447	2,633	685	2,067
龍田	413	910	2,455	2,389	2,731	2,736	853	2,745
託麻	493	813	2,080	2,310	2,776	2,810	840	2,707
幸田	331	822	1,810	2,083	2,500	3,043	836	2,244
中央	228	559	904	1,299	1,449	1,909	437	1,244
清水	278	841	1,637	1,801	2,073	2,140	548	1,991
秋津	335	1,041	2,130	2,291	2,449	2,964	799	2,974
南部	319	1,048	1,641	2,015	2,371	3,125	762	2,391
花園	259	781	1,941	1,557	2,224	2,727	637	2,106
北部	301	546	1,151	1,288	1,519	1,982	443	1,255
河内	293	672	1,232	1,501	1,902	2,360	688	1,809
天明	319	651	1,057	1,484	1,623	2,163	636	1,600
鮑田	512	991	2,035	2,279	2,577	3,264	1,078	2,584
西部	316	828	1,813	1,852	2,532	3,134	849	1,983
五福	173	442	907	1,116	1,370	1,779	418	1,248
はあもにい	0	0	0	1	0	0	0	0
電子図書館	450	661	1,217	1,528	1,384	2,124	396	1,094
合計	38,650	62,302	121,810	195,228	124,949	130,132	54,227	124,515
比率（％）	2.4%	3.9%	7.5%	12.0%	7.7%	8.0%	3.3%	7.7%

※BM・・・移動図書館

	８：語学	９：文学	F：小説	E：絵本	紙芝居	コミック	その他	総数
市立図書館	8,754	94,404	92,323	62,126	3,014	2,351	103	554,895
市立BM	4	525	2,247	781	30	0	0	5,259
植木図書館	1,055	7,355	14,829	9,352	751	1,493	0	66,729
植木BM	1	105	499	0	0	0	0	1,146
城南図書館	2,375	10,269	18,437	10,096	244	71	9	92,323
城南BM	31	161	650	139	18	0	0	1,675
とみあい図書館	1,149	22,666	18	8,964	155	803	78	70,126
プラザ図書館	8,153	37,796	43,094	15,780	0	1	702	353,236
東部	408	3,721	7,815	7,609	43	0	0	32,616
龍田	524	4,725	7,806	5,567	20	0	0	33,874
託麻	466	5,154	8,191	5,984	0	0	0	34,624
幸田	542	3,998	8,975	6,074	104	59	1	33,422
中央	289	2,117	3,071	2,003	0	26	0	15,535
清水	360	3,492	7,284	5,822	18	2	0	28,287
秋津	431	4,707	8,848	5,901	60	3	0	34,933
南部	415	4,370	10,237	5,588	33	11	0	34,326
花園	407	4,773	9,454	5,442	272	1	0	32,581
北部	241	2,826	7,145	4,612	0	0	0	23,309
河内	303	2,745	6,871	4,340	0	8	0	24,724
天明	318	2,644	7,666	3,963	124	0	0	24,248
鮑田	503	3,942	8,077	5,797	102	37	0	33,778
西部	421	3,231	8,718	5,817	83	0	0	31,577
五福	262	1,724	4,963	3,595	43	3	0	18,043
はあもにい	0	0	0	0	0	206	19,144	19,351
電子図書館	1,301	3,140	6,680	581	0	216	558	21,330
合計	28,713	230,590	293,898	185,933	5,114	5,291	20,595	1,621,947
比率（％）	1.8%	14.2%	18.1%	11.5%	0.3%	0.3%	1.3%	100%

※視聴覚資料の蔵書数（13,611点）、雑誌（20,095冊）は含まない。

※その他 新聞18紙 雑誌389誌（購入のみ）

ウ 利用案内

図書の貸出

区 分	貸 出 冊 数		貸出期間	登 録 要 件
個人貸出	熊本市立図書館 植木図書館 とみあい図書館 城南図書館 プラザ図書館 公民館図書室 はあもにい 議会図書室	全館（室）合 わせて一人10冊 以内	2週間	市内に居住か通勤、通学及び図書資 料の貸出に関する協定を締結してい る市町村にお住まいの方 登録者数 270,408人 (令和3年(2021年)3月31日現在)
	移動図書館		次回巡回日まで	
	電子図書館	一人3点以内	2週間	市内に居住か通勤、通学している方
団体貸出	家庭文庫、子ども会、 公民館、学校 等	一回に300冊まで	2ヵ月	市内の地域団体、社会教育団体、 その他これらに類する団体等

視聴覚資料及び機材の利用

	対 象	資料及び機材	利 用 方 法
個人視聴	個 人	ビデオソフト・DVD	1F・閲覧室で利用 (視聴覚ブース：一般席・児童席各1席)
団体貸出	市内の幼・保育園・学校・ 社会教育団体・地域団体等	16ミリ機材・フィルム ビデオソフト・デッキ 映写機、スクリーン 暗幕必要枚数・プロジェクター	資料：5巻以内 機材：1台 貸出期間：3日間

エ 利用状況

図書の利用状況（令和2年度（2020年度））

区 分	市立図書館 （BM含）	植木図書館 （BM含）	城南図書館 （BM含）	とみあい 図書館	プラザ 図書館	公民館図書室		
						東 部	龍 田	託 麻
登録者数(人)	126,421	10,600	9,726	6,068	38,550	11,619	7,236	8,311
貸出者数(人)	201,020	33,291	36,484	20,470	89,271	42,451	22,433	23,246
貸出冊数(冊)	724,752	164,232	164,875	91,912	306,750	132,826	82,557	95,390

区 分	公民館図書室							
	幸 田	中 央	清 水	秋 津	南 部	花 園	北 部	河 内
登録者数(人)	7,461	2,425	7,715	5,686	5,647	5,141	3,339	873
貸出者数(人)	20,629	11,153	21,427	16,545	12,424	16,095	8,703	2,583
貸出冊数(冊)	75,701	31,445	79,843	66,960	44,889	56,118	32,574	8,612

区 分	公民館図書室				はあもにい	議会図書室	電子図書館	計
	天 明	飽 田	西 部	五 福				
登録者数(人)	1,324	2,903	6,301	1,880	1,182	0	0	270,408
貸出者数(人)	2,764	7,507	15,847	6,634	5,317	2,506	82,128	700,928
貸出冊数(冊)	8,506	29,677	62,814	19,897	13,203	4,846	82,865	2,381,244

（注）団体貸出冊数を含む。 ※BM・・・移動図書館 （令和2年5月20日まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館）

視聴覚コーナー利用状況（令和2年度（2020年度））

区 分	ビデオ	DVD	合 計
利用者数（人）	164	90	254
保有数量（枚・本）	1,278	666	1,944

視聴覚機材貸出状況（令和2年度（2020年度））

区 分	16ミリ フィルム	16ミリ 映写機	ビデオ	ビデオ プレイヤー	DVD	DVD プレイヤー	プロジェク ター
利用者数 (団体)	6巻	3台	30本	5台	29本	11台	8台

（視聴覚コーナー及び視聴覚機材貸出は新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用を制限）

5 熊本博物館

熊本博物館は、昭和27年に熊本城内に設置され、勸業館時代を経て昭和53年に現在の場所に開館した。平成27年から着手した全面改修を終え、平成30年にリニューアルオープンし、自然科学・人文科学部門にプラネタリウムを加えた総合博物館として、郷土文化の発展に寄与することを目的とし、熊本に関する資料を中心に収蔵・展示を行っている。

(1) 概要

ア 施設

所在地 中央区古京町3番2号

イ 展示室

①常設展示室

半世紀を超える運営によって形成された膨大な記録・記憶の蓄積がある常設展示室では、全体テーマを『未来へつなぐ熊本の記憶 集める・伝える・創造する』とし、国指定重要文化財の「才園古墳出土品」と永青文庫所蔵の「細川家舟屋形」の展示など、熊本の歴史や文化、人と自然との深いかかわりを示しながら各分野間のつながりを意識した展示を行い、長い時間を経た知の蓄積を市民へ楽しくわかりやすく伝え、未来へ継承することを目指している。また、県市連携展示室を設け、熊本県博物館ネットワークセンターが所蔵する貴重な資料も展示し、市・県内外へ展示内容の価値や魅力をアピールしている。

②特別展示室

重要文化財等の展示に対応した三つの特別展示室が整備されている。特別展示室3はフレキシブルな展示が可能である。

ウ 館内展示風景（常設展示）



(2) 活動状況（令和2年度（2020年度））

ア パネル巡回展

展 示 会 名	期 間	来館者数
潜水調査船がみた深海生物	5/21～6/21	3,850名

教育

イ 企画展

展 示 会 名	期 間	来館者数
「旅の巨人」と呼ばれた民俗学者・宮本常一 ―熊本で見つけたモノー（特別編）	7/23～8/30	6,653名
ひらいて、見よう！いろんな巻物	7/23～8/30	6,653名
くまはくおうちミュージアムのあゆみ	7/23～8/30	6,653名
宇宙の地平線の向こうに ―HORIZONを越えて	7/23～8/30	6,653名
ひとのすがた、いのりのかたち―肖像彫刻の世界―	12/5～1/24	3,683名
博物館でひな祭り！！	2/6～3/7	4,303名
震災をふりかえる―大地とモノが語る熊本地震―	3/20～3/31 (～5/30)	2,023名※

※会期が5/30までのため令和2年度分のみ記載。

ウ 共催展

展 示 会 名	期 間	来館者数
がまだすドーム巡回展1991『雲仙普賢岳噴火災害』を振り返るIN熊本博物館	9/9～10/11	5,098名
くまもと市2020 遺跡発掘速報展	12/12～2/7	3,336名

エ 講演会

行 事 名	期 日	参加者数
企画展「ひとのすがた、いのりのかたち―肖像彫刻の世界―」関連講演会「仏像の文化財修理について」	12/19	32名

オ プラネタリウム

行 事 名	期 日	参加者数
一般放映番組 地球ミュージアム 他	6月～3月	—
ファミリーアワー/幼児団体向け放映 ほしのくにでみつけたたからもの 他	6月～3月	—
学習放映 星が見てきた KUMAMOTO 他	6月～3月	—
字幕付きプラネタリウム	8/22他2回	204名
特別放映 熟睡ブラ寝たリウム	11/23	110名
天文講演会 「私たちがすむ銀河とその中心に潜む巨大ブラックホール」	11/8	94名
CHRONOS II 10周年記念月間特別放映 きょうだけの★ウラネタ・リウム	3/6	62名
CHRONOS II 10周年記念月間特別放映 世界の宙巡り～アテンションブリーズ～	3/13	34名
CHRONOS II 10周年記念月間特別放映 55minutes Night Radio	3/14	38名
CHRONOS II 10周年記念月間特別放映 星の世界へようこそ	3/20	107名
CHRONOS II 10周年記念月間特別放映 月世界探検～望遠鏡で見る月の世界	3/21	66名
CHRONOS II 10周年記念月間天文講演会 「プラネタリウムの歴史における熊本の歴代プラネタリウムについて」	3/27	26名

カ 通年講座

講 座 名	回 数	参加者数
地質学講座	4回	41名
動物学講座	4回	73名
植物学講座	3回	29名
考古学講座	6回	80名
民俗学講座	10回	127名

キ その他の事業及び行事等

行 事 名	期 日	参加者数
子ども科学・ものづくり教室（23 回開催）	5月～3月	693名
ゲストティーチャー派遣授業（お出かけ事業：15 校実施）	9月～2月	1,007名
館内学習支援活動（お迎え事業：26 校実施）	6月～2月	1,667名
講師派遣（8 回開催）	5月～3月	190名
教職員研修（2 回開催）	8月	33名
博物館実習生受け入れ	8/15～8/20	19名
職場体験・インターンシップ受け入れ	7月～12月	1名
大学等からの訪問（3 校）	7月～10月	—
サタデーナイトミュージアム 屋外展示場等のライトアップ及び竹明かり設置	11/21他2回	868名
サタデーナイトミュージアム ナイトプラネタリウム	11/21他2回	330名
サタデーナイトミュージアム もみじの葉っぱで絵はがき作り	11/21	20名
サタデーナイトミュージアム 作って遊んでみよう「マジック・リング」	11/21、12/5	120名
サタデーナイトミュージアム 県市連携ミュージアムトーク	11/21他2回	150名
サタデーナイトミュージアム ダジックアース	11/28	50名
「地質の日」企画 web 版：生命の発展と危機	6/1～	—
夏休み自由研究相談会	7月～8月	12名
海の日企画「ちりめんモンスターを探してみよう！」	7/23	64名
夏休み化石観察会	8/1	14名
カラフルアンモナイトをつくろう！	8/9	58名
押花グッズを作ろう！	8/10	39名
顕微鏡で見てみよう	9/21	138名
古生物の「クリスマスツリーかざり」をつくろう！	12/20	38名

ク 入場・プラネタリウム観覧（R2. 5. 21～R3. 3. 31）※プラネタリウム R2. 6. 2～R3. 3. 31

			入 場 (人)	プラネタリウム観覧 (人)
有 料	個 人	一 般	13, 117	9, 923
		高校・大学生	1, 975	1, 224
		小・中 学 生	2, 199	6, 094
		未 就 学 児	—	19
	団 体	一 般	173	27
		高校・大学生	277	521
		小・中 学 生	810	587
		未 就 学 児	—	87
	年 間 入 場 券	一 般	378	—
		高校・大学生	16	—
		小・中 学 生	7	—
	小 計	一 般	13, 668	9, 950
		高校・大学生	2, 268	1, 453
		小・中 学 生	3, 016	6, 681
		未 就 学 児	—	106
	無 料		一 般	7, 474
高校・大学生			61	16
小・中 学 生			8, 914	1, 820
未 就 学 児			5, 647	1, 728
総 計			41, 048	22, 437

※新型コロナウイルス感染症の影響により、R2. 5. 21 まで休館。プラネタリウムは R2. 6. 1 まで休止。

(3) 資料

資 料 分 野	資 料 点 数
地 質	20, 233
動 物	63, 232
植 物	16, 897
理 工	137
考 古	10, 224
歴史美工	18, 773
民 俗	13, 823
合 計	143, 319

ア 人文科学関係

考古資料では、国指定重要文化財のあさぎり（旧免田）町才園古墳の出土品（寄託品）、元熊大医学部長故山崎正董博士の古瓦コレクションなどがある。歴史資料では、加藤清正関係資料、細川氏関係資料のほか、近世期古文書類、西南戦争関係資料などがある。美術工芸資料では、重要文化財の木造東陵永瑛禅師倚像（管理団体：熊本市）などがある。民俗資料では、元熊本商大学長故丸山学氏の寄贈資料をはじめ県内各地から幅広く民具を収集している。

イ 自然科学関係

哺乳類・鳥類・魚類・昆虫・植物・古生物化石類など、熊本県産の実物標本を中心とした資料があり、屋外展示場には9600形蒸気機関車（69665号機）の実物がある。

岩石・鉱物資料では、元熊大教授故松本唯一博士が全世界から採集されたコレクション、貝類では元熊大医学部長故山崎正董博士のコレクション、昆虫では故古賀三郎氏の世界の蝶コレクションなどがある。

ウ プラネタリウム

ドーム直径16m、座席数180席、光学式プラネタリウム「クロノスⅡ」と全天周映像システム「バーチャリウムⅡ」の組み合わせにより、自然の星空を忠実に再現するほか、遠い宇宙の果てまでの姿を観測データを基に高精細に描き出し、ドームいっぱいに大迫力の映像を投映する。